

# とっとり農業会議情報

第37号  
発行:平成26年 5月30日  
編集:鳥取県農業会議

## 主 な 内 容

- ◇ 市町村農業委員会新任職員等研修会を開催（4月21日） . . . . . 2頁
- ◇ 農地中間管理事業等に係る説明会開催（4月25日） . . . . . 2頁
- ◇ 農業者年金業務担当者会議、新任担当者研修会を開催（5月21日） . . . . . 2頁
- ◇ 日南町農業委員会並びに前会長の山本安正氏が農林水産大臣表彰受賞 . . . . . 2頁
- ◇ 平成26年度全国農業委員会会長大会が開催（5月27日） . . . . . 3頁
- ◇ **農政対策ニュース** 「農業・農村の再生に向けた農業委員会制度・組織改革に関する要請（案）」のポイント骨子ほか . . . . . 3頁
- ◇ 第89回鳥取県農業会議通常総会を8月7日に開催予定 . . . . . 4頁

## 市町村農業委員会事務局長会議を開催（5月2日）

鳥取県農業会議（川上一郎会長）は5月2日、湯梨浜町「水明荘」で、平成26年度市町村農業委員会事務局長会議を開催し、本年度から就任した10名の事務局長を含む各市町村の事務局長ら33名が出席した。当日は、来賓として



県経営支援課西尾課長と公益財団法人鳥取県農業農村担い手育成機構の上場理事長を迎え、農地台帳の整備、農地中間管理事業、とっとり伝統農地登録制度や本年度から本会が取り組む法人設立・経営力向上支援事業など当面の重点課題について協議。特に本年度から始まった農地中間管理事業における農業委員会の役割について説明、熱心な議論がされた。

る農業委員会の役割について説明、熱心な議論がされた。

## 全国農業会議所「農業委員会制度・組織改革」に関する緊急集会開催（4月21日）

平成26年4月21日に都内で、「農業委員会制度・組織改革」に関する緊急集会が開催された。農業委員会系統組織自ら組織改革に取り組み、実行することを決議した。

当日は本会の川上会長、小林副会長（智頭町）、長谷川副会長（湯梨浜町）が参加。集会終了後、県選出国會議員へ農業委員会制度について一層の理解を求めて要請活動を行った。

## 平成26年度市町村農業委員会新任職員等研修会を開催（4月21日）

鳥取県農業会議は4月21日、湯梨浜町の「水明荘」で市町村農業委員会新任職員等研修会を開催し、61人の参加者があり、農地法等の関係法令の概要や農業委員会制度の概要などについて、県経営支援課の前田陽三課長補佐と農業会議から説明した。

また、当日は公益財団法人鳥取県農業農村担い手育成機構の上場重俊理事長から「農地とは何か！」と題し自身の経験を踏まえた話があった。



## 農地中間管理事業等に係る説明会開催（4月25日）

鳥取県農林水産部が4月25日、倉吉市の新日本海新聞社中部本社ホールで農地中間管理事業等に係る説明会を開催し、約190名が参加した。

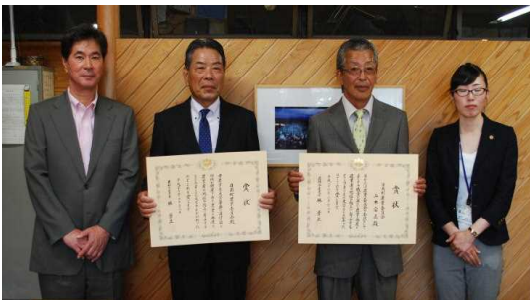
公益財団法人鳥取県農業農村担い手育成機構から農地中間管理事業の今後の進め方、県から事業に関連した国、県の支援策や県農業経営基盤強化促進基本方針の改正について説明があったほか、市町村から取り組み状況の報告があった。

## 農業者年金業務担当者会議、新任担当者研修会を開催（5月21日）

鳥取県農業会議とJA鳥取県中央会は5月21日、倉吉市で農業者年金業務担当者会議及び農業者年金新任担当者研修会を開催し、農業委員会及び各JAの担当者ら約40名が出席して協議及び研修を行った。

会議では、本年度の重点取り組みである農業者年金の新規加入者の加入推進、業務委託の内容などを協議。新任研修では、農業者年金基金業務部適用・収納課の磯野啓主査と同基金業務部給付課の齋藤恵美氏が農業者年金制度の基本的な内容について説明があった。

## 日南町農業委員会並びに前会長の山本安正氏が農林水産大臣表彰受賞



受賞された日南町農業委員会の皆さん（左から小澤局長、梅林会長、山本前会長、青戸主事）

農林水産省では農業委員会の業務遂行に顕著な功績が認められた委員会及び委員に対して表彰を行っている。

今回、日南町農業委員会と前会長の山本安正氏が受賞され、5月30日、表彰の伝達が県庁で県農林水産部の岸田悟部長から行われた。

## 平成26年度全国農業委員会会長大会が開催（5月27日）

平成26年度の全国農業委員会会長大会が5月27日、東京都の「日比谷公会堂」で全国の農業委員会会長ら約2,000名が集まって開催された。

特に「農業・農村の再生に向けた農業委員会制度・組織改革に関する要請」の中で、規制改革会議・WGの「農業改革に関する意見」について反論・意見を表明したほか、大会では「基本農政の確立に向けた政策提案決議」や「TPP交渉において国会決議の絶対遵守を求める要請決議」などが満場一致で決議された。

本県からも本会の川上一郎会長をはじめ、各市町村の農業委員会会長らが参加し、衆・参議院議員会館等で県選出国會議員と個別に要請活動や意見交換などを行った。

### 川上会長がスーパー農委について決意表明

今回の大会では「農業委員会活動の実践を踏まえた決意表明」の中で、本会川上会長が全国の農業会議会長を代表して「今こそ、「スーパー農委」の出番！」と題し全県一体となったプロジェクト活動の実践報告を行った。



### 農政対策ニュース

平成26年度全国農業委員会会長大会（5月27日開催）の「農業・農村の再生に向けた農業委員会制度・組織改革に関する要請」のポイント

- I 公選制のもとでの開かれた農業委員会の強化
  - 1 農業委員会を支えるのは「公選制」
  - 2 より開かれた農業委員会活動に向けた農業外部からの参画の拡大
    - (1) 審議について幅広い参画の拡大
    - (2) 地域の総意を確保するための選挙権の拡大
    - (3) 被選挙権の要件の見直し
    - (4) 女性など選任委員への幅広い登用
- II 許認可業務と農業振興業務との一体的な推進
  - 1 農地を守り活かす一体的な取り組み
  - 2 担い手への農地利用集積の加速（農地中間管理機構との連携強化）
- III 「ネットワーク」の強化による農業委員会の活動への支援
  - 1 農業委員会活動への第三者の意見を含めた事業推進の実施
  - 2 農業委員会ネットワーク（3段階）の維持・強化
    - (1) 農地を守り活かすための農地転用対策の強化
    - (2) 分散化する農地の所有権への対応の強化
    - (3) 担い手の組織化と支援の強化
  - 3 円滑な業務遂行のための農業委員会の体制整備と財源確保

## 第89回鳥取県農業会議通常総会を8月7日に開催予定

鳥取県農業会議は、第89回通常総会を8月7日（木）に鳥取市の「白兔会館」で開催する予定。総会では、平成25年度事業報告及び一般会計決算の承認議案等を協議し、役員改選を実施する。

### 農業会議人事異動

平成26年3月31日付

(退職) 参 与 近 藤 元

平成26年4月1日付

(採用) 参 与 森 井 春 孝 (農地組織課長兼務)  
 (昇任) 事務局次長 田 中 和 浩 (担い手支援課長兼務)  
 (採用) 法人化推進室長 渡 邊 悟

### < 常任会議員会議だより >

#### 第12回常任会議員会議 (平成26年3月27日開催)

議 事 ・農地法第4条諮問答申 6件 4,680㎡  
 ・農地法第5条諮問答申 16件 9,767㎡

協議報告 ○とっとり伝統農地の登録について

#### 第1回常任会議員会議 (平成26年4月28日開催)

議 事 ・農地法第4条諮問答申 9件 3,290㎡  
 ・農地法第5条諮問答申 20件 17,617㎡  
 ・県農業経営基盤強化促進基本方針の変更について

協議報告 ○農地中間管理事業について  
 ○平成26年度全国農業委員会会長大会の開催について

### 農業会議関係会議等予定 (平成25年6月～7月)

6月23日(月) 農地業務研修会<琴浦町> 27日(金) 第3回常任会議<日本海新聞ホール> " (〃) 本会監査委員会・役員会<同上>	7月 4日(金) 農業者年金連盟総会 18日(金) 第4回常任会議<場所:未定> 下旬 農業委員会会長会議(トップミナ) " 女性農業委員の会総会
--	--

#### 【編集後記】(K)

農地中間管理事業がいよいよスタートしました。本県も公益財団法人鳥取県農業農村担い手育成機構が指定を受けて取り組みが始まっています。農地法、農業経営基盤強化促進法も改正され、新たな取り組みが現場に即したものとなるためには、市町村農業委員会が役割を果たすことが重要となってきます。本会も農業委員会の支援を第一に推進して参ります。

先頃、規制改革会議の「農業改革に関する意見」が出され、農業委員会の公選制の廃止、都道府県農業会議、全国農業会議所の廃止等が盛り込まれました。現場の実態、地域での取り組みを理解していない内容で容認できるものではありません。今こそ、農家の皆さんの理解を得るべく全国農業会議所をはじめ組織一丸となって、自らの改革を実行しなければいけません。